

乗鞍高原

乗鞍高原は乗鞍岳のふもとに広がる広大な高原です。この場所は、アクセスの良さ、自然の美しさ、年間を通して遊べるアウトドアアクティビティの数々、そして多くの温泉で知られています。標高 1,200 から 1,800 メートルに位置するこの地域は、ハイキングやキャンプ、サイクリング、フィッシング、スノースポーツ、ウォータースポーツを楽しみたい人でにぎわいます。

キャンプ場、ロッジ、旅館など、幅広い宿泊施設が利用できるこの地域は、近隣の北アルプスの山々でハイキングやサイクリングをする際の拠点としてよく利用されています。しかし、この素晴らしい地域の魅力は宿泊の利便性だけではありません。高地の冬の厳しい自然環境に関わらず、この山村は人口数百人を擁する活気あふれるコミュニティです。これらの要素は、この地域を訪れる人にとって、数々の温泉施設に湯を供給している三つの源泉とともに、地域の魅力の一部となっています。

村から歩いて行ける距離に、三つの滝があります。最も行きやすいところにある高さ 21.5 メートル、幅 8 メートルの善五郎の滝は、乗鞍ビジターセンターから南西に向かってわずか 700 メートルの場所に位置しています。滝の大部分は冬になると凍結し、スノーシューを履いて見に行ける圧巻の氷瀑になります。5 月には白い水芭蕉(Asian Skunk cabbage)の花が咲き、この地域の数多くの湿原が華やかになります。板張りの通路の上を少し歩いて湿地を抜けると、牛留池があります。緑の映える季節の間、この池は水面に周囲の森や北アルプスの山々を映し出します。